

私立大学図書館協会  
2010年度第1回東西合同役員会議事要録

日時：2010年9月8日（水） 14時～16時40分

場所：西南学院大学 2号館8階大会議室

出席者：名簿（別紙）のとおり

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。  
議事進行は、北川勝彦関西大学図書館長が担当した。

1. 報告事項（2010年4月～7月）

（1）協会会務報告

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 4-7）にもとづき報告が行なわれた。

（2）東地区部会会務報告

東地区部会長校青山学院大学（添田）から配付資料（p. 8-11）にもとづき報告が行なわれた。

（3）西地区部会会務報告

西地区部会長校同志社大学（上田）ならびに各地区協議会理事校から配付資料（p. 12-20）にもとづき報告が行なわれた。

（4）委員会報告

1) 協会賞審査委員会報告

協会賞審査委員会委員長（慶應義塾大学：石黒）から、委員会の開催はなかったことの報告ならびに今後、協会賞の推薦応募数を増やしたいので広報の充実を図りたいとの説明があった。

2) 研究助成委員会報告

研究助成委員会委員長（立教大学：小泉）から、配付資料（p. 21, 38, 62-65）にもとづき、会議報告ならびに海外図書館事情調査、研究助成規程の改正、課題研究のテーマについて説明があった。

3) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員長（立命館大学：臼井）から配付資料（p. 21-23）にもとづき、会議報告ならびに2010年度第1回寄贈資料搬送事業の実施、国際図書館協力シンポジウムの実施、海外集合研修の募集について報告があった。また海外派遣研修についてはイリノイ大学モーテンソーセンターからの申入れにより、2010年度はやむを得ず中止したことおよび2011年度は再開されるので、本年度派遣予定者であった

者を2011年度に派遣したいとの説明があった。

#### 4) 協会ホームページ委員会報告

協会ホームページ委員会委員長（中央大学：渡来）から配付資料（p. 23, 81-82）にもとづき、会議報告ならびにWWW情報提供サービス利用申請書フォーマットの見直し、ホームページリンク登録手続きの廃止、WWW情報資源提供サービス利用状況について報告が行なわれた。

#### (5) 協会関連事項報告

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 24-26）にもとづき、主として次のような報告が行なわれた。

##### 1) 国公立大学図書館協力委員会報告

・第68回国公立大学図書館協力委員会が開催され、電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化ならびに国立国会図書館によるインターネット資料収集保存事業について次の報告があった。

・電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化について

国立大学図書館協会ならびに公立大学図書館コンソーシアム（PULC）、国立情報学研究所が連携し、出版社に対して強い交渉力を持つ組織の構築をめざし、具体的な協議に入った。

・国立国会図書館によるインターネット資料収集保存事業について

平成22年4月1日施行の改正国立国会図書館法に基づき、国立国会図書館によるインターネット資料収集保存事業が開始された。ロボットで許諾なく自動的に収集できるウェブ情報の対象機関は、国機関および地方公共団体、独立行政法人、国・公立大学であり、現時点では私立大学は対象外となっている。

#### (6) 図書館におけるRFID導入のためのガイドラインについて

国公立大学図書館協力委員会より検討依頼を受け、内容的に妥当であるので本協会として標記ガイドラインに賛同した。私大協発第10-4号（2010年4月5日付）文書（メールマガジンによる）にて本協会加盟館へ周知した。

本年度総会において報告事項として本件の経緯とガイドラインの趣旨を説明する予定である。

#### (7) 協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 27-29）にもとづき、2009年4月1日以後の異動の報告が行なわれた。

#### (8) 2010年度行事・会議予定について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 30）にもとづき報告が行なわれた。

(9) IFLA年次総会開催地に国立国会図書館が立候補したことについて

会長校関西大学（金）から標記について、2013年開催に向けて国立国会図書館が立候補したことならびに一次選考を通過し残る3ヶ国に選ばれたことの報告が行なわれた。

2. 協議事項

(1) 2009年度一般会計・特別会計決算報告（案）について

会長校関西大学（金）から配付資料（p.31-34）にもとづき次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・次年度繰越金は1,650万円である。前年度繰越金と比較して187万円増である。
- ・通信費および会報刊行費が低価格で済んだ。来年度は予算が余る傾向のある費目を減額し、新たに「海外図書館事情調査・海外認定研修補助費」および「協会HP運営費」を設けたい。
- ・研究助成特別会計において紀伊国屋書店・丸善・雄松堂書店から寄付があり、予算どおりの収入であった。
- ・国際図書館協力特別会計において16社から寄付があり、予算どおりの収入であった。本年度総会資料23ページに芳名を掲載した。
- ・国際図書館協力シンポジウムが不開催となった。また中国長沙大学への搬送事業が取り消しとなった。
- ・総会・研究大会特別会計において、当初参加者を330名を見込んでいたところ、実際は300名にとどまったので収入が17%減少した。手提げ袋（予算額8万円）は佛教大学より贈与された。

協議の結果、提案のとおり承認された。

(2) 2010年度事業計画（案）について

会長校関西大学（北川・金）から配付資料（p.35-38, 62-65, 66-67）にもとづき次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・これまでの協会事業を継承しつつ、地区部会活動・研究会活動・委員会活動を活発にすることならび図書館員の育成、会員間のコミュニケーションを強化することに重点を置きたい。
- ・双方向の情報受発信の実現に向けて、電子掲示板を運用したい。
- ・3月4日開催の東西合同役員会での議論を受けて、諸外国の図書館事情の調査・研究を目的とした新しい制度として、「海外図書館事情調査」および「海外認定研修」を提案する。前者は厳密な事前審査を経て60万円程度の助成を行なう従来型のもの、後者は、旅行などの機会を活用して図書館事情を調査し、事後に5万円の補助を受けるものである。
- ・海外認定研修の応募資格にある「専任に準ずる者」とは、次の四つの要件を満たすものとする。

- ①大学が直接雇用する者
- ②一日の勤務時間と年間勤務日数が専任職員と同等の者
- ③雇用の期間の定めのない者
- ④職制上、主担者として業務を遂行できる者

以上の説明の後、次のことが協議された。

- ・海外認定研修の応募資格者は図書館長を含む専任教職員とする。
- ・海外認定研修は報告書をホームページに掲出することを原則とし、協会の求めに応じてプレゼンテーションを実施することがあるものとするなど、実行案を練り上げる。

協議の結果、提案のとおり承認された。

### (3) 2010年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 39-42）にもとづき、2010年度一般会計ならびに特別会計に関する予算について次の説明と提案が行なわれた。

#### 1) 一般会計

- ・通信費および委員会費、総会・研究大会開催支援費、会報刊行費を合計100万円減額し、新たに設けた海外図書館事情調査・海外認定研修補助費および協会HP運営費に予算を組み入れた。
- ・海外図書館事情調査・海外認定研修補助費は10人分50万円の補助費を計上した。
- ・協会HP運営費は、外部委託ならびにアルバイト雇用が発生した場合の経費としたい。ホームページの運用については専門知識のある会社に外部委託することを考えている。
- ・海外図書館事情調査・海外認定研修補助費は、一般会計の中で予算を増減して作り出したという経緯が一覧できることならびに試験的運用の経緯を見守るという意味合いで一般会計の中に記載した。海外図書館事情調査・海外認定研修が定着すれば特別会計へ振り向ける所作を取りたい。
- ・脱退希望の1校からは年会費の納入が期待できなくなった。

#### 2) 特別会計

- ・収入は、研究助成特別会計ならびに国際図書館協力特別会計ともに例年どおりの金額を予定している。
- ・研究助成特別会計の支出は、複数年で採択された西南学院大学および東京基督教大学の既決定分に、2010年度新たに採択された長崎ウエスレヤン大学を加えて予算計上した。
- ・国際図書館協力特別会計において、国際図書館協力シンポジウムが本年5月14日に実施された。シンポジウム参加費は決算が215,000円である。運営費は1,519,444円の決算となった。不足分は予備費より補てんした。
- ・総会・研究大会特別会計に赤字が出れば一般会計の予備費から補てんする。インフォデスクは8社の出店があった。

協議の結果、提案のとおり承認された。

(4) 研究助成規程の一部改正について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 43-47）にもとづき次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・2010年度事業計画案にもとづき研究助成「海外図書館事情調査」を実施することに伴い、関連する本協会規程を改正する。
  - ・私立大学図書館協会研究助成規程に定める研究助成申込資格に、新たに「海外図書館事情調査」の申込資格として「個人又はグループの代表者」を追加する。
  - ・改正年月日の表記は、1999年度第60回総会での申し合わせに従い西暦表記とした。
- 協議の結果、提案のとおり承認された。

(5) 新規加盟校および脱退校について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 48）にもとづき次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・新規加盟校は明日の総会で一校ずつ紹介する。
  - ・2010年9月8日現在、5校の脱退の申し出がある。5校のうち、議論の余地のない理由で脱退する3校の他は、「大学経営上の理由」による脱退として総会に提案したい。
- 協議の結果、提案のとおり承認された。

(6) 2011年度協会脱退届の取り扱いについて

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 48）にもとづき次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・3月末に窓口の理事校に申し出があり話し合っているところである。脱退についてはやむをえないこととして対処する。
  - ・話し合いの経緯から、本年度の年会費の納入は期待できない。
- 協議の結果、提案のとおり承認された。

(7) 2011年度～2012年度役員校について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 49）にもとづき次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・本協会会則によれば、会長校は理事の互選により総会の承認を得るとあるが、そのとおり運用すると会長校の承認が来年9月となり、4月からの新体制に間に合わない。やむをえないこととして、明日の総会で新体制の了承を得たい。
  - ・前期の、2年前にも同様の手続きをとった。
- 協議の結果、提案のとおり承認された。

(8) 2011年度課題研究テーマについて

研究助成委員会委員長（立教大学：小泉）から配付資料（p. 50）にもとづき説明ならびに

提案が行われた。

協議の結果、提案のとおり承認され、総会当日に資料を配付することとなった。

(9) 第72回(2011年度)総会・研究大会について

次期当番校早稲田大学が欠席のため会長校関西大学(金)から配付資料(p.51)にもとづき説明ならびに提案が行われた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

### 3. 懇談事項

(1) 第71回(2010年度)総会・研究大会について

西南学院大学(伊藤)から、別途配付された標記の資料にもとづき、当日のスケジュール・参加者数・協賛企業等について説明があった。

(2) 2011年度～2012年度委員会委員の選出について

会長校関西大学(金)から配付資料(p.52～54)にもとづき次の説明があり、種々懇談を行なった。

- ・現時点で会長校が把握しているデータをもとに資料を作成した。
- ・委員を選出いただく大学はほぼ決定した。

(3) 私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービスについて

会長校関西大学(金)ならびに協会ホームページ委員会委員長(中央大学:渡来)から、配付資料(p.68-79)にもとづき次の説明があり、種々懇談を行なった。

- ・10月1日から「インフォメーションサービス細則」ならびに「投稿マニュアル」により、標記システムの試験的運用を開始する。機能的には双方向性を実現できていない。
- ・各地区の理事校には、投稿のためのID・パスワードの発行について窓口として協力をお願いしたい。
- ・今後の運用実態にもとづき「インフォメーションサービス細則」ならびに「投稿マニュアル」に検討を加え、次回東西合同役員会にはあらためて成案を提示したい。

(4) 協会脱退届の取り扱いについて

九州産業大学(岩佐)から、今後の取り扱い方法について提議があり、種々懇談を行なった。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

以上